

5月3日 第17回火の国長洲金魚まつり

『ながすのゆるキャラ なにが生まれるかな?』

3月 定例議会

24年度 一般会計予算を可決	2P
一般質問 8人が登壇し町政を問う	8P
委員会視察 金魚日本一弥富市へ	17P
町民のひろば	20P

57億3700万円

前年比 1億600万円の減額(当初予算比)

平成24年度第1回定例会は、
3月12日開会し、22日まで開かれた。
慎重審議のうえ

全議案可決された。

歳入の主な質疑

問 (磯野議員) 固定資産税の滞納差押えはどれくらいの期間で行っているのか。

答 (税務課長) 滞納が発生したら督促や税務相談を行い、それに応じていただけない場合、差押えの手続きをしている。期間はそれぞれ違うので言えない。

問 (市原議員) 施設の利用率が年々少なくなっている。今後どのような施策を考えているか。

答 (総務課長) 町民研修センターは、介護予防拠点整備でトイレ改修や手摺など設置しバリアフリー化を図っている。

問 (福社保健介護課長) 健康福祉センターはトレーニング室

にタタミを敷き、高齢者の利用に対応している。
問 (浜村議員) 法人町民税が増えているのはなぜか。

答 (税務課長) 造船関係の業績見込みにより試算した結果。前年比1億4千万円の増。

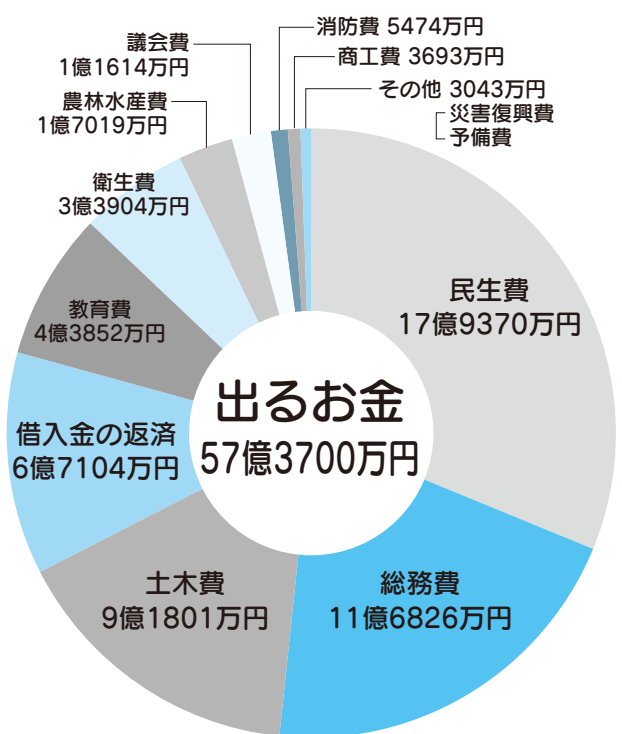
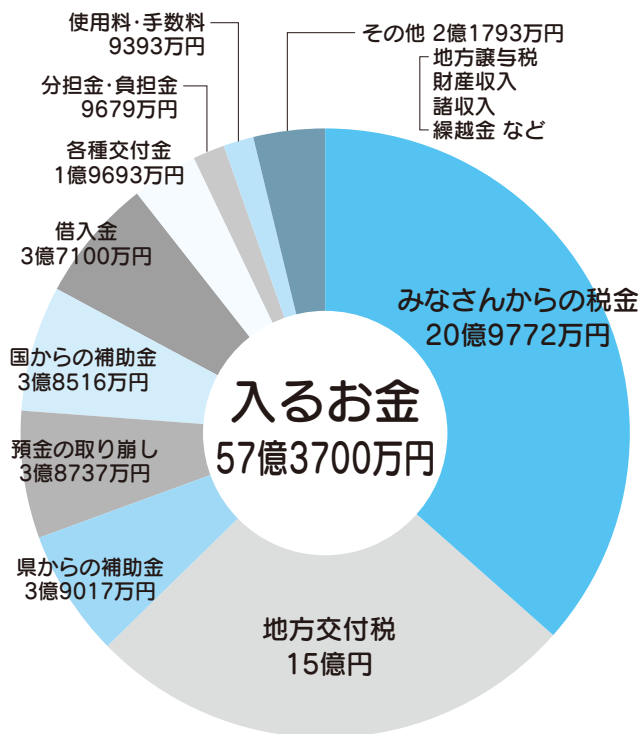
問 (池上議員) 個人町民税の法人特別徴収分の滞納はどれだけか。

答 (税務課長) 平成23年度は18社125万円程度。

問 (川本議員) 健康診断の一部負担金はガン検診を主体とした負担金か。また、689万円は何人を予定しているか。

答 (福社保健介護課長) 肺ガンや胃ガンの検診を主体とし、胃ガン検診で550名を予定している。

平成24年度一般会計予算の内訳



賛成多数で
可決
賛成10:反対2

平成24年度

一般会計予算

歳出の主な質疑

総務費

- まちづくりのために
- 徴税のために
- 公共交通のために
- 男女共同参画のために



11億6826万円

問 (川本議員) 職員何名で24年度予算を執行していくのか。

答 (総務課長) 職員136名、臨時・非常勤157名。

問 (川本議員) 職員より非常勤が多い。これで本当にやっていけるのか。

答 (副町長) 厳しい状況に置かれているが、職員配置計画では134名が目標値である。

民生費

- 児童高年齢障がい者福祉のために
- 子育て支援のために
- 介護予防のために



17億9370万円

問 (磯野議員) 男女共学ジウムの講師はどのような人か。

答 (総務課長) 「行列のできる法律相談所」に出演されていた住田裕子弁護士を予定。

問 (磯野議員) 再生可能エネルギー普及啓発促進事業委託費とは。

答 (まちづくり課長) 名石浜工業団地のメガソーラーを中心に環境教室等を行うもので、臨時職員2名の人件費。

問 (浦辺議員) 長洲港周辺整備基本計画策定委託とは。

答 (まちづくり課長) 新たな地域公共交通の整備や有明フェリー、国道長洲玉名線の北上に合わせ観光拠点として、道の駅整備を含む魅力ある港づくりの基本計画づくり。

問 (市原議員) 自主防災組織支援事業の2万円の活動資金の内容は。

答 (まちづくり課長) 23年度は23区から

申請があった。消火や避難訓練など各区での活動資金として出している。

問 (徳永議員) 花いっぱい運動支援助成の内容は。

答 (まちづくり課長) 花づくりをする団体へ3万円を上限に、公共や民間用地で人目に触れる所へ植えることを条件として助成する。

問 (池上議員) GISシステムは、道路・上水道・下水道等との一体としたシステムに整備をしてはどうか。

問 (樋口議員) 生ごみ処理機設置補助金が復活した理由は。

答 (住環境課長) 生ごみの減量化が進まず、水分カットが必要と考え、乾燥型処理機等を100台分補助するもの。

問 (浜村議員) 成年後見制度利用支援事業とは。

答 (福祉保健介護課長) 障がい者自立支援法に基づく地域生活支援事業の一つになる。

答 (建設農政課長) 道路台帳システム改修には2570万円ほどかかる。

答 (町長) 地理情報システムの中に各情報を盛り込むことは重要。今後、振興計画の中に取り入れていきたい。

問 (福永議員) 長洲港周辺整備や出町地区開発事業は、総合振興計画の基本計画に載せるべき。

答 (町長) 今後、このように気をつける。

問 (川本議員) 保育所民営化の法人選考は今年度中に選定するのか。

答 (町長) 統廃合と民営化を検討委員会にお願いで進めていく。

問 (川本議員) 水質検査で2社が違反していたと聞く。排水満の土壌調査を実施すべき。

答 (町長) 排水した企業と十分詰めて、検討したい。

土木費

- 道路のために
- 河川・港湾のために
- 公園のために
- 公共下水道会計への繰出金
(6億4622万円)



9億1801万円

教育費

- 子どもの教育のために
- 文化・スポーツの
振興のために
- 生涯学習の振興のために



4億3852万円

- 問** (樋口議員) 未来館の舞台管理運営等委託料が昨年度より400万円増となっているが、同じ業者なのか。
- 答** (生涯学習課長) 昨年と同じ業者で、入札の結果を計上した。
- 問** (樋口議員) 入札は何かあったのか。落札業者が同じでどうしてこんなに差があるのか。
- 答** (総務課長) 入札は2社。条件つき一般競争入札で実施した。
- 問** (福永議員) 東荒神区、よけの上・中塩屋線道路改良工事の予算が計上されていないが、事業中止なのか。
- 答** (総務課長) 用地交渉が難航していると報告があったため、当初からの予算計上はしなかった。
- 問** (福永議員) 予算がなくて事業ができないのか。継続事業なら予算を付けて交渉にあたるべきではないか。
- 答** (町長) 予算を付けて執行すべきか、
- 問** (樋口議員) 同じ業者ならば、昨年度と今年度の落札率は。
- 答** (総務課長) 昨年度が68.71%、今年度が99.55%である。
- 問** (市原議員) 宇佐市長洲中学校との交流事業の実施主体はどこか。やめたいとの声も聞くが。
- 答** (学校教育課長) 実施主体はPTAで、そのような話は聞いていない。
- 問** (樋口議員) 入札の結果である。
- 問** (建設農政課長) 生産者、加工業者、流通業者、消費者を対象にしたもので農商工連携(1次産業+2次産業+3次産業+6次産業)の機運を高めるために実施する。
- 問** (池上議員) 六次産業化の講演会の目的は。
- 答** (建設農政課長) あるいは補正で対応すべきか。予算を調整する私が考慮したものだ。

その他の予算

- 議会費(行政監視のために) 1億1614万円
- 衛生費(地域医療のために) 3億3904万円
- 消防費(防災のために) 5474万円
- 農林水産業費(第1次産業のために) 1億7019万円
- 公債費(借金返済のために) 6億7104万円

- 問** (市原議員) この予算で町内2校の交流に励むべきでは。
- 答** (町長) 私は違った考えを持っており、今後、もっと交流を深めたい。
- 問** (市原議員) それでは町が実施主体で行えばいいのでは。
- 答** (町長) 今後は、議員の皆さまと協議しながら交流会を発展させていきたい。

商工費

- 商業の振興のために
- 町のPRのために



3693万円

- ◆ 反対討論**
川本 幸昭議員
この予算には子ども医療費無料化の拡大、住宅リフォーム助成など評価出来る点もある。しかし町民に負担を押しつけている「緊急行財政行動計画」の継続は問題だ。地場産業、町民の暮らしは厳しい。このような状況の中、日立造船等への奨励金の支出は問題である。経費削減等の名目で公共施設の指定管理や保育所の民営化の推進は町の責任を放棄するものであり方針の転換を求める。
- ◆ 賛成討論**
浦辺 朝章議員
厳しい財政状況の中、平成26年度の累積赤字解消に向けた取組みがなされている。また、子ども医療費の助成を小学6年生まで無料化した事は、高く評価されこれにより子どもたちの健康が保持されると考える。以上24年度予算案は、着実な財政健全化が進められる一方で、子どもたち等への配慮が感じられるものであり、本予算に賛成する。

- 問** (樋口議員) プレミアム商品券を発行されている総括は。
- 答** (まちづくり課長) 良かった点、反省すべき点があった。アンケートでは6割の購入者が良かったとの結果。ただ、実施方法は再考を要する。
- 問** (樋口議員) 今年はいつからの販売か。
- 答** (まちづくり課長) 前年度と同時期の7月〜12月に販売されると理解している。

平成24年度

特別会計予算

会計	平成24年度予算額	増減額	増減率
国民健康保険	20億3500万円	2080万円減	1%減
介護保険	16億2330万円	1億1579万円増	8%増
後期高齢者医療	1億9450万円	340万円増	2%増
公共下水道	13億7359万円	3364万円増	3%増
浄化槽施設整備	1260万円	733万円減	37%減
水道事業(支出合計)	3億7043万円	5342万円増	13%増

国民健康保険

〔内容〕
歳入歳出それぞれ20億3500万円とする。

〔主な質疑〕

問 (川本議員) 保険税が上げればさらに滞納が増えるのではないかと。滞納については、話し合いなどで解決すべきだと思いが。

答 (税務課長) 昨年同様、納税の利便性を高めるため、月2回夜間窓口を開設し、納税・会計相談を実施し、基本的には話し合いながら計画的納税をお願いしていく。しかし、納税相談に応じてもらえない場合などは、財産調査等を実施し、本当に納められないのかを見極めて、必要とあれば差押え等も積極的に実施する。

問 (川本議員) 病院の窓口負担の軽減は。

答 (福祉保健介護課長) 医療費の一部負担を猶予、減免する制度。国保法の44条関係は24年4月1日より施行

する。

〔内容〕
計から繰り入れて、保険税の軽減策を考えたかなければと思うが。

答 (町長) 国保税は相互扶助の制度であり、今後は国への負担金補助金の増額を要望していく。

問 (福永議員) この予算案では、色々な対策を打っても効果がでない場合、25年度も保険税を値上げするということか。

答 (福祉保健介護課長) 医療給付費が上昇していく場合には、再度検討しなければならぬ。

問 (福永議員) 今年度は医療費分(329万円)は値上げしないで、一般会計から繰り入れて、抜本的見直しをしてはどうか。

答 (町長) 国保会計の厳しさは認識している。まずは、医療費の抑制に努める。

介護保険

〔内容〕
歳入歳出それぞれ16億2330万円とする。

賛成多数 可決

後期高齢者医療

〔内容〕
歳入歳出それぞれ1億9450万円とする。

賛成多数 可決

公共下水道

〔内容〕
歳入歳出それぞれ13億7359万円とする。

〔主な質疑〕

問 (川本議員) 下水道の震災(地震、津波)対策はどのようになっているのか。

答 (下水道課長) 今後基準が決まってくると思うが、今年度の予算では、まだ震災対策についての予算は、反映させていない。

賛成多数 可決

浄化槽施設整備事業

〔内容〕
歳入歳出それぞれ1260万円とする。

賛成多数 可決

水道事業

収入2億6734万円
支出3億7043万円

〔主な質疑〕

問 (池上議員) 腹赤浄水場の更新事業で現保有施設を活用しながらとあるが。

答 (水道課長) 事業は29年度を計画している。今ある施設を使いながら事業を進めるとのことだ。

問 (吉田議員) 24年度から水道料金の集金を辞めるといことだが、滞納がふえるのではないかと。

答 (水道課長) 対象570戸に対して、4月より自主納付をお願いするものだ。23年度は570戸すべて納付されている。

賛成多数 可決

どうなる？どうする！？

保険料値上げの料金改定

国民健康保険税 介護保険料

賛成多数で可決

現状の保険税率での国保会計今後3年間の見込

(単位:千円)

区分	H24	H25	H26	
歳入	国保税	337,319	325,658	314,405
	その他	1,638,070	1,640,574	1,676,993
	合計	1,975,389	1,966,232	1,991,398
歳出	保険給付費	1,371,573	1,366,744	1,382,981
	その他	663,478	690,617	724,172
	合計	2,035,051	2,057,361	2,107,153
歳入一歳出	△59,662	△91,129	△115,755	

国民健康保険料の改定

〔内容〕

国民健康保険税条例の一部改正
調定額13・14%の国民健康保険税値上げ

〔主な質疑〕

〔市原議員〕元気で長生きな高齢者が多い長洲町で医療費の伸びを抑えるための施策も大事かと思うが。

〔答〕

(福祉保健介護課長)健康づくりでは、国保だけではなく、

全町民的な課題であり、健康増進または食育推進などの計画を策定し、健康課題の解決に向けた意識の啓発や町民主体の健康づくり運動への支援を行っていきたい。

〔問〕

(川本議員)23年度までにいろいろな施設をつくり、公民館などの介護予防拠点施設もできた。医療費は努力すれば下げることができ、今の国保加入世帯の現状をみたら、政治的

な決断が必要である。一般会計から繰り入れをしてはどうか。

〔答〕

(町長)いろいろな保険の制度というものがある。その中を考えると、その制度を維持していく中で解決すべき問題と思う。

◆ 反対討論

川本 幸昭議員

現在でも所得の1割を超える国保税は生活に重くのしかかっている。滞納者は200世帯を超え、悪質と見なされれば差し押さえが強行されている。今回13%の値上げは、さらに生活を圧迫し、滞納者を増やし、差し押さえを増やす結果になる。命を守るべき国保制度が命を脅かしている。高すぎる国保税は引き下げ誰でも払える税金にすべき。そのため国に国庫負担の増額を要求するとともに一般会計から繰り入れを行い「福祉の心」を持つ町政に転換すべきである。

● 賛成討論

徳永 範昭議員

国保の財源となる国保税において、長引く景気の低迷や高齢化の進行により、低所得者層などの軽減世帯が年々増加しており、今後国保財政を安定的に運営していくには、税率の見直しは避けて通ることができない。この度の税率改定は、調停額ベースで13%の改定となっておりますが、納税者に対して一定の配慮を行った改定となっており、やむを得ない改定であると考えているところです。

賛成多数 可決

介護保険料の改定

〔内容〕

介護保険条例の一部改正
12・5%の保険料値上げ

〔主な質疑〕

〔川本議員〕年金は下がるが保険料は上がる。どこに問題があるかというところ、施設の給付費に対する国の負担金が15%というのはあまりに低い。国に対して

強い要請を。

〔答〕

(町長)本町も高齢化が進み、介護を受ける方がふえてきており、町単独では厳しい状況にある。国に対して、私も一生懸命、要望活動を行う。

〔問〕

(川本議員)今回、荒尾・玉名では4町が値上げするが荒尾市と玉名市は据置きという状態だが、なぜこのように差がでたのか。

〔答〕

(福祉保健介護課長)確かに2市だけは、介護保険料を据え置いている。理由としては、これまでに積み立てた基金を保険料に転換することで、据え置いたとのことである。

賛成多数 可決

後期高齢者医療保険料の改定

〔内容〕

一人当たり2・65%の保険料値上げ

平成24年2月16日開催の第1回熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会において議決がなされた。

条例の改正

● 条例の一部改正

都府県たばこ税から市町村たばこ税へ一部財源移譲される

・東日本大震災からの復興に関し、地方公共団体が実施する防災対策の施策に必要な財源の確保のため、個人住民税の均等割の税率を改正

現行年額3000円 ←

改正後年額3500円

同じく県民税均等割も500円増額される

【主な質疑】

（川本議員）防災対策財源がどうして住民税の均等割なのか。

（税務課長）一定額（税務課長）一定額以上ないと課税されないなどの配慮も含めての考えである。

賛成多数 可決

● 公民館条例の一部改正

公民館運営審議会の委員の委嘱基準を条例で定める。

全員賛成 可決

● 下水道条例の一部改正

長洲町公共下水道事業認可区域内を長洲町公共下水道事業計画区域内に改める。

全員賛成 可決

● 長洲町営住宅管理条例の一部改正

同居親族要件が法律により廃止され、地方自治体の裁量に委ねられたため、従来どおりこの要件を残し管理を行うため条例に追加規定。

全員賛成 可決

● 手数料条例の一部改正

火薬類取締法の事務を県から町に権限移譲されるための規定。

全員賛成 可決

● 土地改良事業（鷺巣地区水路改修）の実施に伴う経費の賦課の基準並びに徴収の時期及び方法について

鷺巣地区水路改修に伴う賦課金を徴収するための規定。

全員賛成 可決

大激論!!

指定管理者制度 導入の是非は

賛成6 反対6の可否同数 議長採決にて 原案可決!!

〈内容〉

金魚と鯉の郷広場条例の一部改正

○リニューアル前は水族館の入場料の規定があったが、それを廃止し、展示室や研修室において新たに使用料の規定を設けた。

○指定管理者制度導入に備えた管理規定を追加で設けた。

【主な質疑】

（樋口議員）使用料の減免規定で「公益上特に必要と認めるとき」とあるが、この公益上の中身を具体的に。

（まちづくり課長）研修室と多目的室において、使用の形態として、公共的団体、または準公共的団体を想定して、規定を設けている。

（市原議員）郷広場の使用は原則無料となっているが、スポーツ等の大会開催時には使用料を取っていいのではないか。

（まちづくり課長）広場の設置目的が、

町民の健康増進や文化的生活に寄与する公園としての位置付けであり、使用料を取るといのはなじまない。

（池上議員）指定管理に委託する趣旨の条文があるが、いつ頃指定管理者に移行されるのか。

（まちづくり課長）今回は条例の中で条文を入れたというところで、指定管理導入の時期について結論はでていない。

（福永議員）金魚の館は町のまちづくりの核としてやるのだから、指定管理制度導入の条文は削除して、再度提出されてはどうか。

（町長）指定管理者による管理も考えながら「行わせることができる」という条文を入れることにより、ひいては金魚の館の活性化につながる検討を行う。

◆ 反対討論

川本 幸昭議員

この議案は金魚の館の改修に伴うものであるが、中身は金魚の振興や町民の願いに添えていない。問題点は8000万円の費用でリニューアルした館を含め、広場全体を民間に委託できる改正案になっている事だ。これでは、金魚の振興にも、町民の期待にも反する。これだけの投資をしリニューアルした施設を町は管理運営を放棄し、民間に委託する事は認められない。指定管理についての項目の削除を求める。

● 賛成討論

永田 則人議員

23億6500万円を投入して建設し、今回またリニューアルするというところで、児童あるいは保育園児は期待している。また、地域住民も利便性が高くなると考え、この議案に賛成の立場である。

（まちづくり課長）



川本 幸昭 議員

町民の安全を守るための防災計画の見直しは

答 町独自の見直しを行っている

問 町民の安全と暮らしを守るのが町の責務。大震災の教訓から、国、県の見直しを待つまでもなく独自の見直しが必要ではないか。

答 (町長) 津波を想定した見直しを行っている。民間事業者との避難ビルの協定や防災行政無線の整備を行い、

食料や資材の備蓄を計画的に進めている。

問 災害時援助が必要な人については今の時点から検討すべきではないか。

答 (福祉保健介護課長) 災害時避難が困難な人や家族は現在登録者73名です。その際地域の中から地域協力

員を選定していただき一緒に登録をお願いしている。災害時行政にも限界があり地域の互助、共助の力を活用して災害弱者の支援を図りたい。

問 大震災、原発事故以来農水産物の安全・安心が求められている。長洲町でも耕作放棄地を大規模だけでなく小規模農家にも活用を促して農業の振興を図るべきではないか。

答 (町長) 小規模農家にも耕作放棄地の活用を促進させることは大きな課題とされている。販路拡大と農作物の長洲町での適合性を研究し耕作放棄地の減少に努めたい。

クラブ活動費等の支給で就学援助の充実を

他の市町を見ながら検討したい

問 昨年質問した新しく就学援助の対象になっている、PTA会費、クラブ活動費、生徒会費の支給についてこの1年間どのように検討されたか。

答 (教育長) 今年も教育委員会でも検討を行った。

荒尾・玉名管内では玉名市のみが支給している。今後他の市町を見ながら検討したい。

問 本来義務教育は無償のはず、現在はいろいろな経費がかかり失業や不振の地場産業の世帯は大変厳しい状況だ。

答 (教育長) 今の質問をうけてしっかりと検討してまいりたい。

クラブ活動費は、中学生で2万8700円、小学生でも2600円、生徒会費は中学生5300円、小学生4400円、



津波避難ビル(町と協定)



クラブ活動(中学校)



待ちに待った給食タイム



磯野博 議員

給食センター建設は住民の願いである！

答 緊迫した行政課題の解決が先と考え優先していく

問 給食の量が足りない、汁物は冷えて切っているとの声を耳にした。町はこのような意見を把握しているか。

答 (教育長) 把握している。荒尾市・長洲町給食連絡会議が3月6日にあり、改善の要望を荒尾市長に提案した。

問 厳しい意見や指摘もあり、給食センターの建設は住民の願いでもある。本町に給食センターは必要か、否かを伺う。

答 (町長) 本町は非常に厳しい財政状況下にあると同時に、これまでの緊縮財政の中、緊

迫したいろいろな行政課題が残されている。な

に優先するかを考えると、その時代に合った行政課題の解決が先と考え現段階では給食センターの建設に踏み込むことが非常に厳しいと認識している。

問 《瓦礫の受け入れは》多くの尊い命が奪われた東日本大震災の発生から一年を迎えたが、依然として復興が進まない、その一つに瓦礫の問題が上げられる。この震災瓦礫、町、広域で受け入れる事は出来ないか。

答 (町長) 有明広域行政事務組合では廃棄物の状態が、津波による塩分、土砂が付着した状態であるという。プラントメーカーと協議検

討した結果、処理能力を超えるとの事から受け入れは難しい。

空き家などを借り上げて町営住宅に

住まいづくり計画の中で検討していく

問 本町の町営住宅は現在、4団地約130戸のストックを有しており、最も新しいとされる井樋内団地も築33年を経過している。た

び重なるべく大な改修費が投入されているが、

建て替え、若しくは新築する考えはあるか。

答 (町長) 長洲町営住宅長寿命計画を策定し、立地条件など検討し、建て替え計画、整備を計画的に進めていく。



進まない復興



浦辺朝章議員

商店街の再生と商業活性化は

答 商工会と連携し支援する

問 商店街の再生と商業活性化の施策は、また、道の駅計画はあるか。

答 (町長) 現在、商店街の空洞化が進んでいる。地元商店街の活力を取り戻すため、プレミアム商品券の発行や軽トラ市を実施している。今後も商工会と連携し商店街の活性化につながるよう支援していく。道の駅については具



人出でにぎわう軽トラ市

体的な計画はない。

しかし、将来的には、本町の活性化に必要なものと考えている。長洲港周辺整備基本計画の中で検討を考えているところである。

問 道の駅の予定場所は。また都市計画街路長洲・玉名線がJRをまたいで389号と繋がる予定は何年先か。

答 (まちづくり課長) 熊本北部漁協横の

埋立地を想定している。道路に関しては平成26年度の供用開始予定と聞いている。

問 漁業の振興対策》県はつくり育てる漁業を進めているが、本町では何に取り組んでいるか。次に有明海の水質や底質の改善には科学的根拠を持つて取り組むべきと思うが、他市町や県との足並みは揃えているか。

答 (町長) 熊本北部漁協、広域法人くまもと里海づくり協会等と連携し車エビやマダ

イの稚魚放流、アサリの稚貝放流、エイ被害防止保護ネットの設置など取り組んでいる。有明海の水質、底質の改善は国、自治体及び関係機関が連携して取り組むべき課題。県営覆砂事業は広域的な視点で計画的に取り組んでいる事業である。

問 ノリ生産の状況と毎年の推移はどうか。

答 (まちづくり課長) 生産量で前年の6割程、生産額で7割程。毎年減少の傾向にある。

防災から減災へ

防災計画の見直しを行う

問 東日本の震災以降、防災から減災への見直しは。学校や地域

の防災訓練は計画されているか。

答 (町長) 本町でも大震災の教訓をもとに、防災計画の見直しを行っているところ。防災行政デジタル無線等の整備や標高マップの作成、住民の防災意識の啓発のため自主防

災組織への支援等。学校での対応、災害時の児童生徒の安全確保や防災教育。防災計画を立て、防災訓練の実施を行っている。地域の防災訓練については、自主防災組織を中心に各区で行われている。



有明海はかつて豊じょうの海と呼ばれた



世代間交流の場で健康づくりを



樋口エミ子議員

介護予防拠点整備の活用は

答 福祉や介護だけでなく、世代間交流の場として

問 平成21年度から、公民館等を介護予防拠点として積極的に整備された。その役割と活用方法を問う。

答 (町長) 今後ますます増加する高齢者が安心して地域で介護予防活動ができるよう町内で現在17カ所整備

した。地域活動を積極的に支援し同世代・異世代との交流の場とし生きがいを見つける場所として利用してほしい。

問 介護予防活動支援事業の具体的な内容は。

答 (福祉保健介護課長) 介護予防拠点

の事業者は地域住民であり要請により、指導者派遣、地域の指導者養成、脳の健康教育などサポートしていく。また24年度からは社会福祉協議会と委託契約を結びすべての地域を対象とした体力測定事業等を定期的に実施する。

問 認知症に関する町の取り組みは。

答 (町長) 23年度は国の補助事業を受けて、地域包括支援センターを中心として認知症安心相談会等行った。また2月25日には徘徊者声かけ模擬訓練を3地域で実施し213名が参加された。認知症に対する偏見をなくし安心して住み続けられるような体制をとっていく。

問 荒尾市給食センターの建て替え時期にあわせ幅広く検討する

給食センターの早期実施を

荒尾市給食センターの建て替え時期にあわせ幅広く検討する

問 学校給食センター建設の早期実施を。

答 (町長) 本町の財政見通しにおいて、

自町設置は厳しい。

問 子どもたちの給食は我が町で調理し、

子どもたちの成長を願う明るい未来づくりのために学校給食の再開、建設を。

答 (町長) 私の公約の一つとして、学校給食センターの早期実

現をかがけてきたが、食育の重要性は十分認識している。本町の中期的な財政見通しにおいて、現在は大変厳しい状況にある。

問 学校給食もいろいろなやり方があるが、センター方式での建

答 (総務課長) 緊急行財政行動計画の折りは7億円の試算だったが、昨今同等規模での給食センターでの建設費は、5億円程度かかると試算している。



明るい未来づくりのために、わが町での学校給食の再開を



宮本哲太郎議員

金魚の生産力アップをどのように考えているか

答 町の金魚や生産者をPRし、販売につなげる

問 金魚の館のリニューアルオープンに当たり、町のシンボルである金魚の生産力アップをどのように考えているか。

答 (町長) リニューアル後の館において、長洲金魚の展示はもとより町の養魚組合をはじめとした生産者の紹介や情報発信を行い、金魚や生産者をPRしその販売につなげていく。5月の火の国金魚まつり、10月の金魚と鯉の郷まつりに金魚販売や金魚すくい、金魚品評会を行う。また、観光客や金魚愛好家の方に金魚の魅力やPRし販売を行う。その他、町外で行わ



リニューアル金魚の館

れるイベントに参加し、金魚の観光キャンペーンに取り組む。全国的な金魚産地とも連携して販売拡大につなげる。

問 内水面漁業の振興でイベント開催、観光キャンペーンをするなどがあるが、具体的に見えない。

答 (まちづくり課長) オープンに当たり、5月3日金魚すくい選手権、軽トラ市、フリーマーケット、見学バスツアーの実施。4日はウルトラマンショー、チェーソニアート九州大会、ものづくり体験コーナーなど新たなイベントを組み込む。7月は七夕イベントのかざりを考えている。8月は夏休みキッズ企画で手づくりの木を材料としたお

もちやづくり体験教室を予定している。11月はキャンドルナイトを展示してのイベント、文化祭のパート2ということで保育園、幼稚園の子

問 読書活動日本一運動の目的は!

答 (まちづくり課長) 読書活動日本一運動を進めるか、目的は何か。

答 (教育長) 児童生徒が自ら学ぶ意欲と情報を活用する能力を育てる。目的は、子どもたちが自主的に読書活動ができるように、読書環境の整備を進め読書活動日本一運動が築き上げられるように、感動、苦しみ、悲しみを乗り越える力を身につけることです。

感動、苦しみ、悲しみを乗り越える力を身につけさせる

問 読書活動日本一運動に向かっどう進めるか、目的は何か。

答 (教育長) 児童生徒が自ら学ぶ意欲と情報を活用する能力を育てる。目的は、子どもたちが自主的に読書活動ができるように、読書環境の整備を進め読書活動日本一運動が築き上げられるように、感動、苦しみ、悲しみを乗り越える力を身につけることです。



学校図書館



「安心・安全・おいしい」給食の提供は町の責任!!



市原一広 議員

「給食センター建設」は公約ではなかったのか

答 自町設置は大変厳しい

問 町長の施政方針に、平成24年度は、「公約達成のための結果の年」と謳われているが、公約の柱の一つ、「学校給食センター」の早期実現の姿が一向に見えてこない。

町長の施政方針に、平成24年度は、「公約達成のための結果の年」と謳われているが、公約の柱の一つ、「学校給食センター」の早期実現の姿が一向に見えてこない。

問 三年前の町長選挙の「公約」は住民との約束ではなかったのか。財政が厳しいのは理解しているが、港周辺の

建て替え時期に合わせ、引き続きの委託、若しくは共同設置、またはPFI手法による建設などを考えていきたい。

答 (町長) 給食は学校給食だけでは足りない。家庭での食事も検討してほしいと思う。町の財政状況を考えてみると大変厳しいものだ。

構想とか、「海の駅」の計画とか、私は順番が違うと思う。子どもたちへの安全・安心そしておいしい給食の提供は町の責任だ。

問 給食センターがなくて、災害時の炊き出しはどこで行うのか。

政状況を考えると大変厳しいものだ。

問 平成10年4月両中学校の生徒数812名、それが平成30年4月は383名になる。そうなった場合、学校行事、クラスの交流、部活動等へもかなりの影響が出てくるのではと危惧する。

機感を持つてその対策をとっている。

答 (町長) 部活動のための統合を考えると、私には教育は少人数でもいいのではと考える。何人が適正か議論していきたい。

将来的に両中学校の統合を

教育は少人数でもいいと考える

問 県立玉名高校附属中学校の2年目がスタートするが町内から何名が入学するのか。

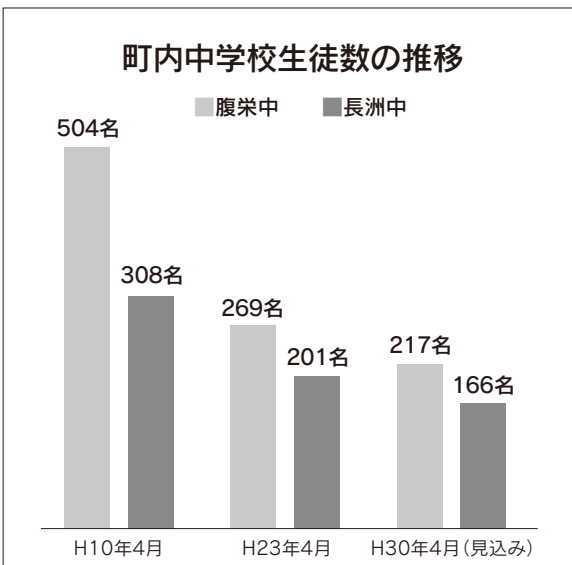
答 (教育長) 町内4つの小学校から11名が合格し入学する。また、私立の中学校に2名希望されている。(全児童数162名)

問 全児童の約8%が腹栄・長洲両中学校以外に入学する。更に生徒数が減少していくことへの危機感を持っているか。

答 (教育長) 学力、リーダーの養成、小中一貫教育についても取り組んでいるし危機感を持つてその対策をとっている。

将来的に両中学校の統合を教育は少人数でもいいと考える

全児童の約8%が腹栄・長洲両中学校以外に入学する。更に生徒数が減少していくことへの危機感を持っているか。



減少する生徒数。2校のままでいいのか？



池上満則議員

金魚養殖の行く末は

答 長洲町のシンボルである金魚の発展に尽力する

問 平成24年重点施策で養魚組合と養殖

に関し協議を重ねる。また、振興計画では資源を有効活用した生産性の高い金魚養殖業の振興と謳（たの）つてある。一方、生産に関しては縮小の一途を辿（たど）っている。これらはどう認識し、どう対応するのか。

答 （町長）日本でも少ない生産地であり、歴史のある伝統産業文化である。金魚養殖の活性化に各種イベントで宣伝と販売支援をして一定の効果があつて

いる。一方、養殖者の減少、高齢化、後継者不足など課題がある。この課題に対し養殖者と知恵

を出し合って取り組む。「一定の効果が上がっている」とは

問 具体的に数字で示して。
答 （まちづくり課長）火の国金魚まつりなどの場で確実に売り上げが上がっていると言ふことで「一定の効果」と表現した。

ど決め公式で行うべきと思うが。

答 （まちづくり課長）養魚組合の現状、あるいは課題などに町、

組合、養殖者がどうしたら良いのか具体的に、本当に膝詰（ひざむす）めで真剣な話し合いの「場」をこれまで設けていなかった。平成24年度から忌憚（きたん）のない話し合いをしていき、長洲町の金魚養殖のありべき「道」を探していく。

長洲金魚のPRは平等に

組合への加入を呼びかける

問 ホームページに金魚養殖者を紹介しているが組合員だけである。養殖者は他にもいる。長洲の金魚をPRするのに差別である。

答 （まちづくり課長）組合員を優先している。少数の養殖者なので、組合員の方から未加入の養殖者の方に加入を呼びかけていた方がいい。

非組合の養殖者の取扱いは検討する。



近代的な養殖池

問 養殖者との話し合いは、今後、題目な

ら良いのか具体的に、本当に膝詰（ひざむす）めで真剣な話し合いの「場」をこれまで設けていなかった。平成24年度から忌憚（きたん）のない話し合いをしていき、長洲町の金魚養殖のありべき「道」を探していく。



泳ぐ宝石



福永栄助議員

行政経営、計画行政の定義は

答 歳入歳出を見極め、計画に基づいて実施していくこと

問 第5次総合振興計画に書かれてある行政経営、計画行政の定義を伺う。

答 (町長) 収入マイナス支出がプラスにいくことが定義。計画行政とは総合振興計画に

基づいてまちづくりをやっていくこと。

問 計画がスタートして一年がたつが課題(II施策)をどのよう

にして事務事業(II解決手段)を執行し、どの程度施策の成果が向上し

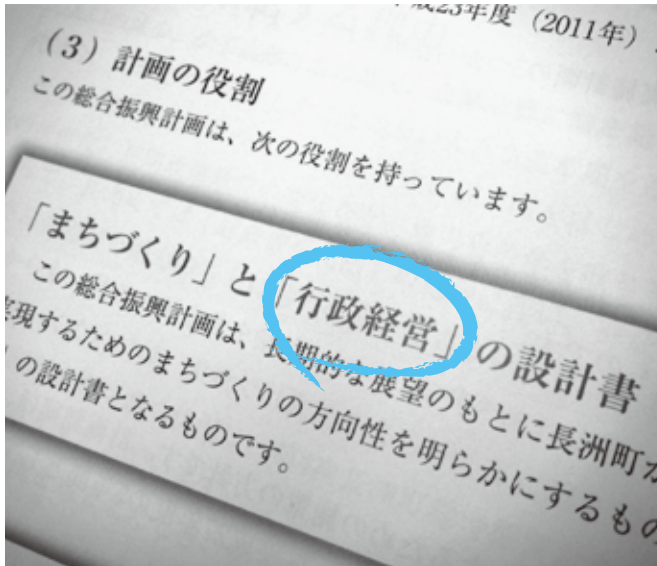
たのか伺う。

答 (町長) 計画に掲げている目標の実現に向け、計画の進捗管理は重要と考えており、そのために、事務事業評価による事業の効果測定と、それに基づく事業の縮小・拡大・廃止といった見直しを行い、目標の実現に向け、事務事業の改革・改善に取り組むたい。

問 未来を開く人づくりを目指す夢のあるまち。これが大きな政策。施策(II課題)が家庭教育力の向上、家庭教育の支援解決手段(II事務事業)として家庭教育学習支援事業(研修会、講習会)を実施した。その成果は。

答 (生涯学習課長) 各幼稚園、保育所、小中学校で約752名の

行政経営とは？



今年度、事業評価を行う

事業の成果(アウトカム)は

参加をいただき、研修会、講習会をした。

問 それは、予算を投入し事業を実施し

ただけ、その事業によって成果があったのか。

答 (生涯学習課長) かなか成果という

の目に見えてこない。今後検討する必要があると思っています。

問 町長はこの計画がスタートする前に第三者評価委員会を作ると言われた。また常任委員会に評価表を提出し検討していただくとも言われた。一年が終わろうとしているのに評価表もできていないではないか。

答 (町長) 行政評価をしっかりとしろということと認識している。真摯に受け止めてやっていく。



計画実施後の評価は？

わが町にも！防災デジタル無線整備！

一般会計補正予算 3億2600万円追加 平成23年度 総額69億2300万円

主な収入

- 消防防災通信基盤整備補助金
1460万円
- 農業体質強化基盤整備促進事業費補助金
1億8790万円
- 財政調整基金繰入金
2000万円
- 減債基金繰入金
1000万円
- 緊急防災・減災事業債
1億5250万円

主な支出

- 鷲巣地区水路改修工事費
279万円
- 暗きよ排水整備事業費補助金
1億8628万円
- 防災行政デジタル無線施設整備工事費
1億6020万円

主な質疑

問 (磯野議員) 防災行政デジタル無線設備整備工事費の1億6000万円は、金額として高いのではないか。

答 (総務課長) 振興計画の中には4000万円位の計上であったが、東日本大震災後には、町内で聞こえない所がないように、新たに21か所にスピーカーを設置することとしたためである。

問 (樋口議員) 防災行政デジタル無線の局設備はどこに置くのか。

答 (総務課長) 役場総務課前に親局として整備し、子局11か所から親局と通話ができるようにする。

問 (池上議員) 暗きよ排水整備事業の概要はどうなっているのか。わかりやすく説明を。

答 (建設農政課長) 国の第4次補正で、

急きよ進めたもので、暗きよ排水は農振、農用地で整備済みの農地を対象に10aあたり15万円の定額補助。暗きよ排水を標準的設計で10メートル以下毎に入れることが条件である。

問 (福永議員) 財政調整基金から2000万円、減債基金から1000万円繰入れてあるが、3月半ばで予備費が1500万円ある。どうして減債基金を取り崩して繰り入れたのか。

答 (町長) 予備費が少ないなかで全体的予算を見て、減債基金から繰り入れた。

問 (福永議員) 財政健全化をいっているのであれば、基金はあった方がよい。この時期に予備費の使い道はないと思うが。

答 (総務課長) 1500万円ほど予算上は残っているが、24年3月16日現在の残は650万円であり、財源不足が生じたため、減債基

金から繰り入れた。
問 (川本議員) 23年度は69億円の予算にしては事業が町民の色々な願いに添えていないように感じるが。

答 (町長) 私はそのように思わない。23年度は国や県からの補助がかなり有効に活用できた予算だと認識している。

賛成多数 可決
国民健康保険

内容
歳入歳出それぞれ2522万5千円を追加し、総額20億8965万2千円とする。
全員賛成 可決
公共下水道

内容
歳入歳出総額変わらず、公共下水道費を80万円減額し、予備費を80万円増額する。
全員賛成 可決
水道事業会計

内容
資本的支出額を2954万4千円増額する。
全員賛成 可決

金魚生産量日本一のまち

—愛知県 弥富市—

弥富市は金魚生産量日本一のまちである。本曾川下流の水郷地帯で約140年前から金魚が生産され、金魚は市の特産品として位置づけられている。金魚の流通拠点としても、わが国有数の市場であり、金魚の全品種である約25種類すべてが生産されている。また、市には愛知県水産試験場内水面漁業研究所があり、優良金魚の開発・研究・指導が行われている。今回の研修では、弥富市の議長をはじめ市担当課職員と弥

富金魚漁業協同組合の組合長をはじめ組合員の方々と意見交換をした。【視察を振り返って】市では、金魚の出荷は組合を通じてされており、出荷組合が30件、問屋5件で販売されている。市は金魚組合を主体として、PRを兼ねたミス弥富金魚コンテストや弥富金魚すくいグランプリ、空港や駅前での金魚水槽の展示会などイベントを催し、さらなる金魚の宣伝と販路拡大に努力されていた。

【視察を活かす】本町でも、金魚の館リニューアルにあわせ、金魚と鯉の郷祭りが開催される。様々なイベントを通じて、「長洲の金魚」を全国に知ってもらおう機会を十分に活用して欲しい。また、本町だけの課題ではない後継者不足は産地の市町村で情報を共有しながら解決の道を模索する必要がある、それには町の支援が必要不可欠であるため、本委員会でも更なる調査を実施していきたい。

弥富市金魚漁業協同組合

- 組合員数 119名
 - 養殖池面積 791千㎡
 - 生産高 2300万匹
 - 年間生産高 5億円以上
- だが…経営体数および養殖面積ともに、昭和50年代後半から減少傾向が続いており、養殖業者の高齢化や後継者不足が今後の問題。



弥富市の養殖池

日本一財政力豊かなむら

—愛知県 飛鳥村—

飛鳥村は、村全体面積が約22.53km²と小さな村であるが、北部は農村地帯、南部は臨海地帯で本町とよく似た村である。工業専用地帯において540社ほどの企業が目立ち、日本でも有数の港湾施設の村であり、日本一財政力が豊かな村として知られている。

【視察を振り返って】飛鳥村では、企業誘致対策として名古屋港の関係機関と協力し、港湾施設の整備促進や航路等の誘致を目的とした「ポートセール」を開催し、名古屋港の利用促進に努め、またコンテナ貨物の物流拠点としての機能を高めるため、自動車道接続の早期実現を図っている。



飛鳥ふ頭コンテナターミナル

待望の金魚の館リニューアル

—長洲町 金魚と鯉の郷の広場—

3月4日、金魚の館リニューアルに伴う工事が佳境を迎え、工事の進捗状況の確認および施工の確認のため視察を行った。

金魚の館では9割程度の工事が完了しており、館内はバリアフリーとなり、風の通る明るい館へとリニューアルされていた。

リニューアルオープン時には、金魚の三大産地として、「長洲の金魚」を全国にPRできる拠点となることを期待したい。



リニューアルオープン間近

東日本大震災を教訓に

— 和歌山県 串本町 —

串本町は、南海トラフに近く津波に一番近い町と言われ、近い将来発生するとされている東南海地震、南海地震による大きな被害が予測されおり、津波到達時間が最短で6分ということ で津波対策に特に力をいれている。

〔視察を振り返って〕

今回の研修では、住民と自治体の強い結束を目的の当たりとした。串本町では被災から復興までの道筋を住民と一丸となり模索している。防災関係の計画の策定時には、町内各地区で27回住民ワークショップを実施し、規約をもつ38か所の自主防災組織と連携するかたちで様々な防災関連の計画づくりを進められたとのことであつた。

〔視察を活かす〕

本町でも、町内の地形や環境、避難困難地域を把握するとともに、住民と連携し今後行なうまちづくりにおいて、常に防災を意識していかなければならない。今回の研修により、本町でも町が一丸となり、災害に備え、人命を第一と考え、減災対策を実施すること、想定外の災害にも対処できる力を蓄えておくべきであると議会で報告しました。

串本町の防災への取組み

- 最長5年間保存可能な「なんたん水」の開発
- 耐震性貯水槽の整備(4,400人分の3日分の飲料水相当)
- 避難場所の耐震化・水道管の耐震化
- 津波避難タワーの設置・避難場所への物資備蓄
- 防災広場の建設(800世帯の避難生活を想定)
- 防災対策の専門家をアドバイザーとして招致
- 高度計を貸出し住民自身による避難路の確認



津波避難タワー

追跡レポート

あん質問はどがんなった

平成23年第4回ほか一般質問

住宅リフォーム

助成制度の創設を

町の活性化や地元産業の振興策として波及効果も大きい。早期実現を。

答 弁

個人住宅の長寿命化と質の向上を図り、定住化の促進や地元業者への支援を目的とした制度を検討している。

平成24年度より住宅リフォーム助成事業創設

町内住宅のリフォームを町内施工業者を利用して実施した場合、費用の一部を助成する。

有明海沿岸道路の延伸を求め



国へ意見書提出

【要請の趣旨】

有明海沿岸道路は、平成24年1月29日に大牟田市の三池インターチェンジまで開通し、荒尾市までわずか900メートルの位置まで道路がきており、この部分の延伸が実現し、荒尾・玉名地域まで供用が開始されれば、国道208号のバイパス機能を発揮し、渋滞緩和、物流効率の向上、緊急道路としての役割に大きく貢献するものである。
有明海沿岸道路の延伸により、熊本県北部地域の経済波及効果に極めて効果的である。



要請に賛同する議員により意見書の作成

【意見書内容】

現在、大牟田市までとなっている有明海沿岸道路については、まずは荒尾・長洲まで延伸すること



【本会議】

賛成多数で可決



【国へ意見書提出】

衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、国家戦略担当大臣あてに意見書を提出

ひとくちメモ

有明海沿岸道路とは…、福岡県大牟田市を起点とし、佐賀県鹿島市に至る計画の延長約55kmの地域高規格道路(自動車専用道路)である。また、大牟田市から南進して熊本県熊本市の熊本天草幹線道路まで延長する有明海沿岸道路(Ⅱ期)も候補路線に指定されている。

人事案件

教育委員会委員を任命



伊津野 照子氏
(上沖洲区)

【抱負】

この度、教育委員に就任致しました伊津野照子です。

長洲町の子どもたちが、夢をもち、元気で学校は楽しいなと思える環境作りに、少しでも役立つよう頑張っていきたいと思っています。

長洲町議会50年史
好評発売中



ぜひ、ご家庭に1冊ご購入ください。

価格3,000円(税込)

町民のひろば

傍聴席から一言



高木 和子さん (東荒神区)

初めて町議会定例会議を傍聴して、行政の施策に関心を持って、見守ることの大切さを感じた。町長の施政方針、取り組まれた諸報告等からも目指されている姿が見えてくる。

会場は、しんと静かな中に一般質問や応答の声だけが響き渡り、15名の傍聴人が聴きいていた。住民サイドからの意見や対策との言葉が心に残った。心から安心して暮らせる町づくり、活力ある心豊かな地域社会を目指して頑張ってください。

町民の声



のしこら祭実行委員会

平成24年度長洲町夏まつり「のしこら祭」を8月25日(土)に金魚と鯉の郷広場で開催します。この「のしこら祭」が、毎年約7千人の来場者を迎え「町民のまつり」として定着してまいりましたのは、皆様方からのご支援の賜物と実行委員会一同心より感謝しております。この『のしこら』の意味ですが、長洲町に昔から歌い継がれている『長洲嫁入り唄』と言う唄があります。その唄の囃子詞として、『のしこら』と歌われる部分があります。歌詞の流れからいろんな苦労や世間の荒波を乗り越えて、長寿をまつとうするお嫁さんに「のしを添える」と言う意味が込められているそうです。

本年の「のしこら祭」も長洲町の地域活性化をめざし、誰もが参加して楽しんでいただける恒例の金魚みこしレース、町民総踊り、花火大会等盛りだくさんのプログラムを予定し準備中です。実行委員会一同、町民の皆様が夏の夜の良き思い出となるようなのしこら祭を開催したいと思います。皆様のご支援、ご協力をお願いします。

ひろば

今回より一般質問を一人1ページとした。以前の半ページに比べると少しは中身の濃いものに出来たと思う。

議会での質問時間は、答弁を含め一人1時間まで、この中で議員は思いをぶつけていく。熱い質問に答弁者が窮することもしばしば、紙面では分からない臨場感も議場へ傍聴に来られた人にだけ分かる。議場に緊張感を

与えてくれるのは住民の目と耳である。傍聴者が増える事は議会の活性化、町の発展へも繋がると思う。

(浦辺)

皆さん傍聴に来てください

次の定例会は

6月25日(月)
開会の予定です

■問い合わせ先は
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書きだけです

発行責任者

議長 松井 一也

委員 福永 栄助

委員 徳永 範昭

委員 宮本 哲太郎

委員 磯野 博

副委員長 浦辺 朝章

委員長 吉田 正

広報委員

(浦辺)